

○事業所名	つぼみアウラ		
○保護者評価実施期間	令和7年05月20日	～	令和7年06月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年05月15日	～	令和7年05月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年06月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援学校高学年(小4～高校)に対する運動活動	支援学校児童を中心とした運動療育活動	職員の知識・技能を高め利用者の満足度を高められるよう協力を強化する
2	日常生活の自立に向けた療育活動	児童の得意な事や今後延ばしていきたい能力に合った活動	利用者の要望運動内容が出来るに活動メニューの組立
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特になし	運動療育・自立支援メニューの拡充	
2			
3			

事業所名	つぼみアウラ
------	--------

公表日 令和7年06月25日

利用児童数

43

回収数

35

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35				運動活動が十分可能なスペースが確保されている	継続
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2			職員配置人数は多いので満足	継続
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	4			活動スペースはバリアフリーになっているが、入口に5段の階段がある	継続
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1		1	整理整頓がされていて清潔感がある	継続
適切な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35				運動療育に特化した指導してくれるので満足	継続
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35				適切に対応している	継続
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	1	1	1	面談時に具体的な要望を伝えているので、活動に反映されている	継続
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32			3	支援内容は具体的だと感じているが、ガイドラインに適合しているか分からない	ガイドラインと個別支援計画の連動をしっかり説明する
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	3			児童が希望している運動や興味を持っている事に特化した活動になっている	継続
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	3	2		運動内容が毎週変わり子供が楽しみにしている	継続

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	30			5	子どもが習得した技能や知識を外部へ発表する場を増やして欲しい	地域関連施設との連絡協力を密にしなが ら発表や見学の場を広げていきます
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35				見学时に詳しい説明があった	継続
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35				個別支援計画は面談時に計画の内容を示すと同時に、保護者からの要望を聞き取り修正後に説明があった	継続
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	3	2	1	面談・LINE・連絡帳・送迎時に活動内容を伝えているが、家族を含めた研修は行っていない	家族に対する情報発信や研修方法の具体的改善策を勧める
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	35				出来ている	児童の活動状況については、連絡帳と毎日のブログで行っている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2	2	1	情報の共有を連絡帳・LINEを使って頻繁に行っている	保護者との連絡を密にしている
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35				度々相談をしている	継続します
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	6	2	2	職員と保護者の交流は積極に行われていると思う 親間の交流の場が増やしてもらいたい	継続します
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35				家族からの相談の場を設けている また、家族からの相談を受け学校や地域施設と連携した支援会議も実施している	継続します
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	3	2		密に行なわれていると思う	継続します
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35				活動情報はLINEで頻繁に発信がある	定期的に情報を発信しているが、保護者との相互連絡を迅速におこなうにはLINEの活用法を再考する必要がある
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35				適正に管理されていると思う	継続します
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35				事故防止・緊急対応・防犯マニュアルについては契約時に説明があった	マニュアル化はしているが、職員への周知徹底が更に必要

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30			5	研修会議や訓練など事業所で定期的に訓練を実施されている	訓練を継続
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35				安全対策は十分	継続
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	2		3	事故後の対処方（病院・保護者連絡）などしっかり行われている	継続
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33			2	行き渋りはない	継続
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35				同じ学校の友達がたくさんいるので通所を楽しみにしている	継続
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	3	1	満足している	継続

事業所名	つぼみアウラ
------	--------

公表日

令和7年6月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	◎		クールダウン用の別室もあり、活動スペースは十分	運動量が多い時のスペース確保
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	◎		法令で規定されている職員配置を満たしている	各種の運動に特化した児童指導員を配置
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	◎		訓練スペースはバリアフリーになっているが入口に階段がある	歩行等に不安がある児童などは 来所時に個別対応をしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	◎		整理整頓を常に心がけている	活動により児童の習熟度が異なるため、各児童に適した指導の改善が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	◎		クールダウンの必要性により個別の部屋を設けている	個別の部屋を設けている
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	◎		療育の振り返り・改善に繋がるよう話あっている	定期的を実施している虐待防止研修などの内容は全体会議や日々のミーティングで職員間の共有をはかっている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	◎		保護者との意見交換・連携を密にし その都度改善を行っている	職員間で共有はスピードを重視しており迅速に対応している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	◎		ミーティングは毎月行っている また、活動中でコミュニケーションを密に行いスピーディーな業務改善を行っている	改善提案事項はスピード感をもって具現化する努力をしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		◎	相談支援事業所や学校・地域障害者施設等などの連携を頻繁に行い風通しのよい環境を作っている そのため第三者評価はおこなっていない	事業所で行っている活動を外部にアウトプットする場を広げていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	◎		外部研修や会議など積極的に参加し、研修で得た知識や技能を共有している	日ごろのOJTや自己啓発など計画的に実施し職員全体のボトムアップをはかる

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	◎		プログラムを作成し速やかに実行している	必要に応じて学校や相談支援事業所・関連機関などと連携し進めていく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	◎		専門的なアセスメントを行い個別支援計画に活かしている	今後も引き続きより良い支援が出来るよう、個別支援計画の見直しを行っていく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	◎		こどもの支援に関わる職員が情報を共有しこどもの最善活動を考慮した検討が行われている	他指導員の考え・療育方法も十分聞き取るようにしている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	◎		児童発達支援計画は職員に共有され、計画に沿った支援が行われている	年齢や特徴に応じスキルアップできるよう工夫する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	◎		日々の行動観察などインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	◎		「提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」を意識して支援計画を組立てている	個別支援計画は「提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」を意識しているが、具体的な活動項目との連動には至っておらず今後の課題となっている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	◎		活動プログラムを組む場合は、職員間の情報を収集する場を設けている	職員の雇用形態（フルタイム職員・短時間職員）にかかわらず自分の考えや意見を遠慮なく出せる環境づくりを行っていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	◎		活動がマンネリ化しないようにプログラムを更新している	今後も継続して工夫改善を行う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	◎		16：00までを個別活動（学習支援・自立支援・基礎療育等） 16：00から運動中心の活動としている	今後も継続して実施する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	◎		職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	今後も継続して実施する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	◎		業務終了時は職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	児童に対する振り返り・注意点・留意点は他事業所とも共有し支援の内容を高めるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	◎		連絡帳を毎月回収し活動日誌として保管し記録としている	今後も継続して実施する

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	◎		定期的にモニタリングを行い適切な見直しを行っている	モニタリング策定時は事業所内で会議を開き職員間の意見・見直しを行っている
関係機関 や保護者 との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	◎		児童発達支援管理責任者・管理者・場合によっては該当児童をよく担当する担当職員が参画している	今後も継続して実施する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	◎		学校、障害福祉、保育、の関係機関と連携して支援を行っている	保護者・学校・支援員を交えた支援会議を行い児童の支援方法などの情報交換を行っている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	◎		移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っている	保護者・学校・支援員を交えた支援会議を行い児童の支援方法などの情報交換を行っている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	◎		地域の関連事業所・学校との連携を密にとっている	保護者・学校・支援員を交えた支援会議を行い児童の支援方法などの情報交換を行っている
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	◎		地域の中核支援センターとの連携を密にし事業所への訪問や児童に対す支援相談を行っている	今後も継続して実施する
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		◎	現在は行っていない		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	◎		口頭での報告やブログ・LINE・連絡帳で活動内容については保護者と共有し改善に努めている	現状以上に活動の詳細をスピーディーに伝え、次回利用時の改善に繋がるようにしたい	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		◎	現在は行っていない	今後家族等が参加出来る研修を検討していく
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		◎	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	今後も継続して実施する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		◎	子ども優先の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	個別支援計画・モニタリング策定時は保護者の意見・要望を反映している
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		◎	児童発達支援計画に基づき支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	今後も継続して実施する
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		◎	保護者からの相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	今後も継続して実施する
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		◎	年1回交流の場を定期的に設けていたが、コロナ拡大以降現在まで中止にしている	感染症拡大の状況を見ながら再開したい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		◎	保護者からの対応体制を整備し、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	事業所内の知識・対応力だけに限らず地域関連機関との連携を密にし、日頃から情報収集の場を広く最適な対応が出来るようにする
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		◎	LINEやSNSを中心にイベント発信など各種のツールを使って情報発信を行っている	今後も継続して実施する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		◎	個人情報については十分注意して取り扱っている	今後も継続して実施する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		◎	活動スケジュールや写真・絵・画像を使って理解しやすいように工夫をしている	児童が理解できたかなど確認しながら意思疎通をはかっている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		◎	地域関連施設などに出向き地域の活動に参加した事はある	地域の関連施設で日ごろの活動成果を発表出来るように検討していく
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		◎	各種マニュアルを作成しいつでも閲覧出来るようにし、マニュアルにそって訓練を実施し周知徹底をはかっている	マニュアルが形骸化する事がないようミーティングや会議で定期的に確認している

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	◎		業務継続計画を策定し、非常災害の発生に備え、避難、救出その他必要な訓練を行っている	時間的な制約があり、現在は職員だけで訓練を行っているが、今後は児童を含めた訓練を実施したい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	◎		利用契約時に服薬・てんかん発作の情報を保護者より書面でもらい全職員で共有している	今後も継続して実施する
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	◎		利用契約時に食物アレルギーの情報を保護者より書面でもらい全職員で共有している	おやつを提供があるので食物アレルギーについては十分注意している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	◎		安全管理に必要な研修や訓練など安全管理が十分された中で支援が行っている	安全計画が計画だけで終わる事がないよう、研修や会議ミーティングを利用し定期的に確認している
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	◎		利用契約時に保護者へ安全計画・安全対策の説明をしている	今後も継続して実施する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	◎		ヒヤリハットの事象が生じた場合は速やかに原因を確認し今後の改善対策を行っている	今後も継続して実施する
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	◎		虐待防止研修に参加し職員間で共有している	今後も継続して実施する
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	◎		他児童への危険回避を考え緊急的にかつ一時的にやむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者へ説明をし了解を得ている	今後も継続して実施する